語釈 ： インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語（24）
(A Basic Way of Reading Trump-Language)

後　藤　　寛

11 月の大統領選をひかえ目下、Trump 大統領は新型コロナウイルス(COVID-19)蔓延のため停滞していた米国における経済活動(economic activities)の再開など、ガイドラインとして OPENING UP AMERICA AGAIN を掲げ、目先の重要問題に取り組むことに躍起になっているが、今回は(1)で長めの１文で書かれた tweet を扱い、reading の重要性を改めて示唆したい。(2)はメキシコとの国境の壁建設に関する短い tweet である。

(1) Endless Wars, especially those which are fought out of judgement mistakes that were made many years ago, & those where we are getting little financial or military help from the rich countries that so greatly benefit from what we are doing, will eventually come to a glorious end！（January 7, 2019）

▲この tweet は１文で成り立っている。Endless Wars, … , will eventually come to a glorious end！となる。「果てしなくつづく戦争、それも特に何年も前の判断ミスによるもの、またわれわれから多くの恩恵をこうむる豊かな国からほとんど財政的・軍事的支援のないことによる戦争は、行き着くところ惨めな終わりとなる」という内容である。具体的には示されていないが、シリア・アフガニスタン情勢や、対中国など他国との貿易が unfair だという Trump 大統領の思いだと考えればよかろう。波線とした glorious はこの場合は反語的にマイナス（負）のイメージ語となる。

太線語 glorious はプラスαBasic 語 *glory*（栄光）から分かるが、[g]と[l]の間に母音[ou]が入り二重母音化した Basic 語 **gold** も同系では？と原義が感知できるとよい。これらは印欧祖語の語根 PIE etymon の形態音素形(morphophoneme：MP 形)〔筆者は独自にこれを形態言素形(morphoglosseme：MG 形)とも呼ぶが、glossematics（言理学・言語素論）からの morphoglossemics（形態言素論：MG 論）的な命名となる（本連載(12)参照)〕は母音/E/をもつ/GHEL/とされ、「滑らかで、光り輝くこと」の意味である。他の Basic 語 **glass**、さらに **jewel, jelly, yellow, clear, clean** も同系である。形容詞のプラスαBasic 語 *glad* も同系。また *glacier*（氷河）も同系。un-Basic 語 glance, glare, glisten, glow, etc.もそうである。語頭で[gl]と響く子音群(consonant cluster)をもつ語から共通の lexeme（意味素）が抽出できる〔拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(60)参照〕。

ところで、上の文が発話されたものと想定すると hearing（聴力）のレベルはもちろんのこと、さらに listening comprehension（聴解力）のレベルとなるが、日頃からの reading の重要性が基本として浮き彫りされてくる。すなわち、われわれの脳の情報処理能力上からは**7±2 語** が memory span（記憶範囲）だと本連載(7)で触れたが、この文は意味的区切れとしてはこの範囲にほぼ収まってはいる。しかし、日本人にとっては挿入節が長く、リズムに乗って聴解するのにやや難点もあろう。発話の途中で、はぐれることにもなる。１語１語の語配列を追っていけなくなるのである。前回触れた構造主義言語学的な連続する 2 語ずつの語結合・共起性(co-occurrence)の問題が絡んでいる。英文の流れ

に乗ったリズミカルな listening には、やはり速読 reading が重要ということになる。

なお、この Trump 大統領の tweet に対し翌日に、I made a few corrections. Please use this version. @LCannon57 と記され次のような修正文とした返信があった。

cf.〔上の(1)に対し翌日に@LCannon57 の名(at sign)で**修正され、送信された retweet**〕

~~Endless Wars,~~ **Bad Presidencies,** especially those which ~~are fought~~ **were picked** out of judgement mistakes that were made ~~many~~ **two** years ago, ~~& those where we are getting little financial or military help from the rich countries that so greatly benefit from what we are doing,~~ will eventually come to a glorious end ! (January 8, 2019)

修正されたこの文と元の文をじっくり検討すると興味深い。語の置き換えと大幅な削除ですっきりはするが、皮肉的な返信 retweet となっている。「2 年前に判断ミスで選ばれた大統領ら政府の幹部は、結局はきわめて惨めな終焉を迎えるであろう」という内容となる。こういう graffiti（落書き）的な返信もネット上に連日いくつも送信されるが、構造主義言語学的な観点からもネイティブのもつ英語力を改めて実感させる。

なお、graffiti は「書くこと」の意味で、プラス α Basic 語 *phonograph, program* などと同系であるが、さらに深い原義は「引っ掻くこと」である。PIE etymon の形態音素形(MP)・形態言素形(MG)は/GERBH/とされていて、実はギリシャ系の語 grammar（文法）とも同系であるし、さらに意外に思われがちであるが、子音[gr]が[gl]と音変異した glamo(u)r（魅力的な・グラマーな）も同系である。中世の時代に英語となった grammar は「文法は魔術的で、魅力あるもの」という考え方を背景にしている。

さらに、/M/の音素をもつ PIE etymon の MP(MG)である/AMMA/（愛すること）とも根本ではつながっていることを示唆する文献もある。Basic 語の **mother**（母）、**material**（母材）、un-Basic 語の mama（ママ）、amateur（アマチュア）、amorous（好色の）、matter（問題・重要である）などの一連の語はこれに由来する〔同上拙著、第二部、例(58)参照〕。最後の matter に関連し、Black Lives Matter (BLM)！「黒人の命は大切だ！」は今日、アメリカでの人種差別に対する抗議運動のスローガンである。5 月末に中西部ミネソタ州で白人警官による黒人男性の暴行死事件が起き、全米での抗議デモにも発展し改めて BLM が叫ばれた。略奪を伴う暴動となり、Trump 大統領は Twitter に 'Looting leads to shooting, ...' 「略奪は銃撃を招く、．．．」と書き込みもし(May 29, 2020)、暴動阻止と国家の治安を守る強いアメリカを誇示した。looting と shooting を[ú:tiŋ]で掛けた文言は 1960 年代から知られる。抗議デモでは Trump 大統領の強硬な対応に批判もあったが、新聞紙上の風刺画に Black Lives Matter.をもじり Trump Life Matters.と書いたプラカードを彼が持ち大勢のデモ隊に見せつけているものもあった。

(2) We lose 300 Americans a week, 90% of which comes through the Southern Border. These numbers will be DRASTICALLY REDUCED if we have a Wall ! (January 10, 2019)

▲下線部の 90% of which は前の文 We … week, を 1 つの出来事としてみている。今回も 3 つの深層意味素に分けてみる。**i) ABOUT**：米国民、**ii) BECAUSE**：毎週、300 人

の死者がでているが、90%は南のメキシコ国境で起こっているし、壁さえ建設すれば数は激減するので、**iii) PLEASE**：（野党民主党には）壁建設を承認してもらいたい！

本連載(2)の①ですでに触れたが、カリフォルニア州 San Diego の南の Tijuana はスペイン語の国メキシコ領で、筆者自身何かと思い出のある町である。中米からの違法入国者が西端からはここを経由しカリフォルニア州へ押し寄せる。John Wayne 主演の西部劇映画の題名 Rio Grande「リオ・グランデの砦」でも知られる Rio Grande 川（スペイン語 Rio Grande = Great River)が米国とメキシコの国境を流れる。米国側西南端の都市 San Diego に対し、下の地図上には示されてはいないが米国側東南端の都市はテキサス州 Brownsville である。

太線とした語 drastically は dramatically とは類義語(synonym)ではなく両者ともギリシャ系の語で、同系語(paronym)である。音感と語感を感知しておきたい。

……

試問　すべての英文は意味的に２分割される。ただし、その**意味的2分割線**がいわゆる主題部(NP)と題述部(VP)の間となるとはまったく限らない。次は何年も前に、ある大学が入試問題で出題した良問である。**文の息つぎ・休止(pause)**に関するもので、英語の発話上での**呼吸法**と関わる。それぞれ A）～ E）の**各文を2分割する場合**に、**1箇所**どこに**区切れ目**ができるか？各々、その２分割線の入る箇所を番号で示せば？

A）　I'd like to know / if / I'm taking / the right road / to the public library.
(1)　(2)　(3)　(4)

B）　Where can I find / out / about / the subway train fare / to New York?
(1)　(2)　(3)　(4)

C）　She makes / some mistakes / every time / she writes / a letter.
(1)　(2)　(3)　(4)

D）　Can you tell / me / when / we shall see / the result?
(1)　(2)　(3)　(4)

E）　The best place / in / which / to learn good manners / is home.
(1)　(2)　(3)　(4)

……

この例からも**文(sentence)を論理的・意味的に2分割(dichotomy)する線が、いわゆる主部（NP）と述部（VP）の間となるとは限らない**ことが分かろう。

正解	A)　(1)	B)　(2)	C)　(2)	D)　(2)	E)　(4)

＜**備考**＞各々、7±2 語程度で区切れ、主部と述部の間で２分割となる文はE）だけである。